

高齢化を考えるー

介護に関わる制度は

どのように変わるのか

8月27日(土)アミューあつぎ610ですみよい厚木のまちづくりを考える会の主催で、「高齢化を考えるー介護に関わる制度はどのように変わるのか」と題した学習会が開かれました。厚木市の出前講座を利用したものです。市の健康長寿課から「総合事業」について、次に福祉総務課から「地域包括ケア」について1時間ほど説明がありました。後半の懇談では参加者からの質疑・意見が活発に出されました。発言の一部を紹介します。

認知症の家族の支援は県の厚木保健福祉事務所が家族会の事務局となっている。家族への講座を前向きに考えたいが、どういったものがいいのか、いつがいいのかなどの希望があればそれも含めて検討していきたい。

○自治体消滅論を使いすぎではないか。行政は自助・互助・共助・公助の順番でいうが、公助が先ではないか。

◆自治体消滅論は、日本創生会議が平成26年5月にまとめたものであり、全国で約1800の自治体のうち、2040年には半分の自治体の存続

可能性があるというものである。そうならないように厚木市として地域包括ケア社会に向けて取り組んでいきたい。



介護への関心が高く、会場は満席(8月27日)

○実際に義父母の介護の真っ最中だ。認知症について家族の理解が難しい。市による学習機会や支援がほしい。

◆市の施策として、以前から認知症サポーター講座を実施しているが、受講したサポーターをどのように活躍してもらうか検討中である。

9月議会に審議される請願・陳情 (提出団体)

日米地位協定の抜本的改定を求める意見書を国に提出することを求める請願(自主・平和・民主のための広範な国民連合 神奈川)

心身障害者医療費助成を精神障害者保健福祉手帳2級に拡大適用をすることを求める陳情(個人)

義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行を図り、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の保障を求める意見書を国に提出することを求める陳情(湘北教職員組合)

暴力団追放・暴力団組事務所排除の推進に関する決議を求める陳情(睦合南地区自治会連絡協議会)

平成29年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情(厚木市腎友会・神奈川県腎友会)

介護保険制度の次期改正に向けての意見書を国に提出することを求める陳情(福祉クラブ生協 みんなの手代表 これからの介護を考える会)

厚木市敬老祝金支給に関する条例の一部改正の骨子(案)に対するパブリックコメントの実施について

厚木市では、敬老祝品・祝金等給付事業について、変更をしたいとしてパブリックコメントを実施します。変更内容や実施時期は下記のとおりです。高齢者施策の全体にかかわる問題です。皆さんの意見を積極的に出していきましょう。

期 日 9月1日(木)～10月3日(月)

配布場所

市役所・各地区市民センター(公民館)
本厚木駅連絡所・愛甲石田駅連絡所
総合福祉センター・老人福祉センター寿荘
中央図書館・あつぎ市民交流プラザ(アミューあつぎ)
厚木市ホームページ

改正骨子(案) 概要

敬老祝金・祝品の支給対象年齢・内容の変更

実施は 平成29年4月1日(予定)

現行

- ①敬老祝金 75歳(5千円)、80・85歳(1万円)
90・95歳(2万円)、100歳以上(5万円)
- ②祝品 77・88・99歳
- ③市長訪問・祝品 90歳、95歳以上、100歳誕生日
- ④祝品 結婚50・60年/三代夫婦/90歳以上夫婦

改正案 ※ ④は廃止

- ①敬老祝金 77歳(3千円)、88歳(5千円)
99歳(1万円)、100歳(3万円)
- ②祝品 80歳、90歳
- ③市長訪問・祝品 90歳、95歳以上、100歳誕生日、男女最高齢者

9月の法律相談

9月21日(水) 1時半～

前日迄の連絡を!

9月議会 今後の予定

9月	5日(月)	一般質問(第1日)
	6日(火)	一般質問(第2日)
	7日(水)	一般質問(第3日)
	12日(月)	総務企画常任委員会
	13日(火)	市民福祉常任委員会
	14日(水)	環境教育常任委員会
	15日(木)	都市経済常任委員会
	23日(金)	総務企画委(決算審査)
	26日(月)	市民福祉委(決算審査)
	27日(火)	環境教育委(決算審査)
	28日(水)	都市経済委(決算審査)
	30日(金)	議会運営委
10月	5日(水)	議会運営委・本会議

時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。